



室蘭市議会議長
山 中 正 尚

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、希望に満ちた平成20年の新春を迎えられましたことを市議会を代表し、心からお喜び申し上げます。

昨年は、4月に地球岬小学校が新たな統合校として開校し、JR東室蘭駅では東西口を結ぶ歩行者専用道路の自由通路も供用開始され、さらには中島地区に西胆振最大規模のショッピングセンターがオープンして多くの地元雇用につながるなど、数々の明るいニュースがありました。

地元の大手企業等では、フル生産体制も続いており、一方北海道PCB廃棄物処理施設では試運転が開始され、同施設処理情報センターも本格稼働に先駆けてオープンし、新たな施設の増設計画も示されるなど、地元経済にも活気が戻りつつあると感じております。

私ども市議会も、改選により新たなメンバー構成となり、地方分権の推進に向けた取り組み、将来の国と地方のあり方や地域の連携など市議会として果たすべき役割について、積極的に学び、実り多い1年となるよう取り組んでまいりたいと存じます。

本年が皆様にとって、心豊かで幸せ多い年となるよう、心からご祈念申し上げ、新春のごあいさつといたします。

本年も
よろしくお
願い申し上
げます



室蘭市長
新 宮 正 志

市民の皆様、あけましておめでとうございます。健やかに平成20年の新春を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

昨年は、室蘭の高炉に灯がともってから100年という節目で、基幹産業は好況が持続し、さらなる需要に応えるための設備増強が図られるなど、明治以来の伝統に支えられ築き上げてきた「ものづくりのまち」100年にふさわしい年であったと感じております。また、本格操業を控える北海道PCB廃棄物処理事業をはじめとする環境産業も進展し、雇用の拡大や経済波及効果が徐々に広がりを見せてきました。

一方で、不良債務等の解消を柱とした財政基盤の確立や、空洞化が目立つまちなかの再生など、市民生活を守り、将来の室蘭を築き上げていくため、さまざまな課題に取り組んでいかなければなりません。

また将来に向かって取り組む大きなテーマとして、西胆振地域の連携・合併も積極的に検討してまいりたいと考えております。そのためには行政だけでなく、市民の皆様のまちづくりへの主体的な参画をお願いしながら、一体感のある地域づくりを目指して、なお一層の努力を重ねてまいりますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご多幸を心からお祈りし、年頭のごあいさつといたします。

